



加藤 博徳 議員



平成30年度繰越事業の進捗は

問 平成30年度3月補正予算書では、事業計画金額11億434万円のうち9億1629万円、率で83%の工事を翌年に繰越すという補正予算が提出、可決された。3月末時点の事業進捗状況は。

答 合田財政課長
繰越額の9億1629万円は、3月議会で繰越明許で補正予算に計上した金額で、実際に繰り越したのは6月議会で報告した8億6287万円だ。
この金額は、全てが工事等ではない。JR伊予横田駅駐輪場整備、土地改良事業、プロモーションビデオの作成、土地調査委託事業は、5月までに完了している。また、町道整備事業の町道西古泉筒井線道路改良工事、早船川排水機場改修、町営住宅ブロック塀改修、小・中学校空調設備は6月末までに完了予定だ。
3月末までに支出済みの額は、小・中学校空調設備設置工事の前払い金5000万円のほか、その他の事業で部分完了した事業約260万円となっている。今年度の事業については、計画どおり進んでいる。(6ページ参照)

エアコン設置後の取組みは

問 学校にエアコン設置が完了する。

- ① 効果の確認は。
- ② 活用方法は。
- ③ エアコン設置で夏休みの短縮は。快適な学校生活になることから、

現在7月21日からの夏休みを、8月1日からの10日間ずらすことで冬場の6校時、7校時に充ててゆとりの活動にしているかどうか。
④ 健康管理対策は。

答 本間教育長

エアコン設置の目的は、熱中症をはじめとする健康被害を防止し、児童・生徒が安全で安心できる教室の環境を整えることにある。
① 体調不良者数や保健室利用状況の調査、子どもたちの授業中の集中力や学習への意欲などに関する意識調査などで確認する。
② 稼働期間や設定温度等を規定した空調設備運用基準を定め、室温が28度を超える原則使用できることとし、各学校の状況に応じ

て適切に活用する。

③ 夏休みの10日間の短縮については、現時点では時期尚早と考えている。
夏休みは家庭生活や地域行事を通して子ども自身が主体的、自立的な学びを獲得する大切な期間であり、夏休みを短縮することは子どもの学びの機会を減らすことになる。
教職員は夏休みに研修や研究大会、免許更新講習や各種の大会で、出張や引率のため授業が成立しない。校長会でもほとんどが夏休

みの短縮には反対している。県内で既にエアコンを設置している市町でも夏休みの短縮の議論はしておらず、県の町教育長会においても将来の検討課題としている。

④ 体調管理について定め、休み時間には窓をあけて定期的に換気を行ったり、外気温と室温の差に十分注意するなど、エアコンの使用に伴う体調不良が起らないよう健康管理に注意する。